

共に「杉戸の未来」を切り拓こう、  
いつも、私たちは変化の先頭に。



WEB

12月議会のQRコード

BLOG



12月議会報告

## アグリパークの経営について質問しました。

毎年160万人来場するアグリパークゆめすぎとですが、近年業績はよくありません（※下記参照）。しかし町は建物の老朽化に伴い修繕と一緒に売り場を拡張しようと全体で約3億円もの予算を計上しようとしています。売り場を拡張する前に、まずは、経営改善を行わないことが必須です。赤字になったら投入するお金は税金です。町としての見解を伺いました。

営業利益・純利益の推移（平成20年区～令和5年区）



副町長の答弁です

栗原健彦作成

新社長に変わったことで、経営面及び運営面など様々な改革が社長と幹部社員リーダーとして取り組んでいます。現在、各地で新たな道の駅が増え、競争が激しくなる中、施設の老朽化や売場面積や駐車場の拡張などの経営改善に係る課題が顕在化し、今まさに大きな転換期を迎えている中、アグリパークの機能強化に伴い、町が多額の予算を投入する予定です。よって、まさに今が経営強化のための改革をするときであると私も考えております。したがって、今指定管理期間の実績が一つの評価となりますが、この5年間の評価によっては、将来的に公募によって指定管理を決定していくことも視野に入れていきます。第三セクターとして設立された会社が指定管理者にふさわしい優良企業として発展していくことを第一に願っております。そのため、まずは株主の皆様、生産者、出荷者の皆様、そして社員のためにも、会社が将来にわたって指定管理業務を継続できるよう、ハード整備に併せソフト面の経営改善等について、毎月開催されます取締役会議において経営状況等について細かく厳しくチェックをしながら、役員、社員の皆さんと積極的に議論をして、アグリパークの未来のために経営強化に向けた意見や提案をしてまいりたいと考えております。今後におきましても、広大な敷地面積を持つ農業公園が町内、町外の多くの皆様から親しまれ、杉戸町のシンボルとしてますます発展していくよう、必要な支援を行いつつ、お互い緊張感と危機感を持ちながら、有限会社アグリパークゆめすぎとと連携強化を図ってまいりたいと考えております。以上。

アグリパークの実績推移詳細は裏面をご覧ください。

